

## 献辞

西尾信一先生は、二〇〇一年三月末日をもって本学を退職なさいました。法学部教員一同から先生への敬愛と感謝の念を込めて、ささやかではありますが本書を献呈させていただきます。

先生は大阪府のお生まれで、一九五二年に東京大学法学部（旧制）を卒業後、住友銀行に入社され、主として法務関係の業務に従事されました。他方でこの間、京都大学商法研究会、大阪工業会法律懇話会、全銀協法規部会等の各種研究会において、先生はわが国商法学会の錚々たる学者たちの指導の下に理論的な研鑽を積み重ねられました。このようにして先生は、わが国金融業の中枢に身を置いて実務の最先端の課題に取り組みつつ、それを学問の最先端を行く知性の光に照らして考察するという、きわめて貴重な得難い足場に立脚して、数々の優れた研究業績を上げられました。

先生は一九八四年に三重大学人文学部教授に就任され、同大学を定年退官後、九二年に本学法学部に迎えられました。本学で先生は後進の指導に当たるとともに、さらにご研究を深められ、九九年には本学から法学博士の学位を授与されました。また住友銀行監査役としてもご活躍なさいました。

先生は後進に接するときも常に笑顔をやささず、まさに温厚篤実であらせられ、悠揚迫らぬその温かな円熟したお人柄は、法学部教員一同および学生諸君の敬愛してやまないところであります。退職後も先生には弁護士のかたわら本学非常勤講師としてご指導をお願いしていますが、今後一層のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

二〇〇一年 九月

法学部長 馬 渡 淳一郎